

【監理団体等様へのお願い】

- ★受検案内を必ずご一読ください。
- ★受検申請手続きにあたって、P.7～9「9.受検申請手続き」をご参照ください。
- ★試験当日について、P.10「11.試験当日の注意」をご確認ください。



機械保全技能検定

外国人技能実習生対象
(基礎級・随時3級・随時2級)

受 検 案 内

公式サイト: <https://www.kikaihozenshi.jp/basic/>



厚生労働大臣指定試験機関
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

目次

1.	外国人技能実習制度とは	2
2.	等級・作業	2
3.	受検手数料	2
4.	過去の試験問題	2
5.	試験方法と合格基準	3
6.	受検対象者(受検資格)	4
7.	試験実施日・試験会場	4
8.	試験実施の流れ	5
9.	受検申請手続き	7
10.	新型コロナウイルス対応	9
11.	試験当日の注意	10
12.	試験の結果(合否について)	11
13.	合格証書・試験結果通知書	11
14.	再試験	11
15.	FAQ(よくあるお問合せ)	13
16.	お問合せ先・申請書類送付先	13



1. 外国人技能実習制度とは

外国人技能実習制度における技能実習生に対する修得された技能等についての認定に活用されるものとして、当会（以後、JIPM）では機械保全技能検定職種の随時に実施する 2 級（以下、随時 2 級）、3 級（以下、随時 3 級）および基礎級を実施しています。

外国人研修・実習制度については、厚生労働省ホームページ、外国人技能実習機構ホームページをご確認ください。



<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

OTIT 外国人技能実習機構
Organization for Technical Intern Training

<https://www.otit.go.jp/>

2. 等級・作業

外国人技能実習生対象の機械保全技能検定は、下表の等級と作業で試験を実施します。

作業等級	作業区分	試験科目およびその範囲
基礎級	機械系保全作業	公式サイトの「等級と作業」 をご確認ください https://www.kikaihozenshi.jp/basic
随時 3 級		
随時 2 級		

3. 受検手数料

受検手数料は全等級共通です。振込手数料は、ご負担ください。

受検申請内容	受検手数料（非課税）
学科試験・実技試験両方の受検	20,000 円
学科試験のみ受検	4,600 円
実技試験のみ受検	15,400 円

※学科試験の受検手数料が、2022 年度 4 月に改正施行

4. 過去の試験問題

各級の過去の試験問題は、公式サイトに掲載されております。随時 2 級、随時 3 級は一般試験と同等のレベルとなり、随時 3 級は漢字にふりがながふっております。

※公式サイトに公開していない試験問題・資料については非公開です

公式サイト <https://www.kikaihozenshi.jp/basic>

5. 試験方法と合格基準

試験は学科試験と実技試験を行います。また、試験はすべて日本語で実施します。

試験問題を持ち帰ることはできません。

(1) 学科試験

等級	出題形式・出題数	試験時間
基礎級	真偽法 20 問	60 分
随時 3 級	真偽法 30 問	60 分
随時 2 級	真偽法 25 問、四肢択一式 25 問	100 分

(2) 実技試験

等級	問題形式と出題数	試験時間
基礎級	判断等試験 6 課題	18 分(各課題 3 分×6)
随時 3 級	判断等試験 7 課題	70 分(各課題 10 分×7)
随時 2 級	判断等試験 8 課題	80 分(各課題 10 分×8)

(3) 実技試験の実施方法

実施方法	説明
判断等試験 (機械系保全作業)	受検者に対象物又は現場の状態、状況等を原材料、標本、模型、写真、ビデオ等を用いて提示し、判別、判断、測定等を行わせることにより技能の程度を評価する試験

(4) 合格基準

等級	試験	判定法	合格基準
基礎級	学科試験	加点法	60 点以上(100 点満点)
	実技試験	減点法	減点数が 40 点以下(100 点満点)
随時 3 級	学科試験	加点法	65 点以上(100 点満点)
随時 2 級	実技試験	減点法	減点数が 40 点以下(100 点満点)

※減点法: 正答以外の解答は、すべて減点対象となり 100 点から減点

各設問の配点、受検者個別の解答内容など、採点結果については非公開です。

受検者には、監理団体を通じて試験結果通知書(基礎級の再試験で不合格の方と随時 3 級・随時 2 級を受検の方)を送付します。

学科試験と実技試験の両方合格の方には当会会長名の合格証書を交付します。

(5) 不合格者の再試験

学科試験、実技試験の一方、または両方の不合格者は、在留資格の申請前であれば、1 回に限り再試験を受けることができます。再試験の受検の流れは P.6 をご参照ください。

6. 受検対象者(受検資格)

受検対象者(受検資格)は、表のとおりです。

なお、技能実習 1 号又は技能実習2号の修了予定者には、当該技能実習の期間中に受検又は再受検できず、出国準備期間としての在留資格「短期滞在」として滞在している者を含みます。

また、当面の間、「特定活動(4カ月・就労可)」、「特定活動(6カ月・就労可)」又は「特定活動(6カ月・就労不可)及び「特定活動(最大1年・就労可)」に在留資格を変更することにより在留期間を延長した者については、上記「短期滞在」の場合と同様に取り扱います。

等級	対象者
基礎級	技能実習 1 号の修了予定者
随時 3 級	技能実習 2 号の修了予定者(機械保全職種以外の職種の基礎級(旧基礎 1 級又は基礎 2 級を含む)に合格した者を含む)
随時 2 級	技能実習 3 号の修了予定者(機械保全職種に係る 3 級の実技試験に合格した者に限る)

7. 試験実施日・試験会場

1. 試験実施日について

受検希望期間の中から JIPM が指定した試験日(平日のみ)に実施します。

＜注意事項＞

- ・原則として、受検希望期間の範囲で調整いたしますが、前後する場合があります。
- ・監理団体や実習実施機関の希望で試験日の指定や変更はできません。
- ・受検申請の手続きが遅れた場合は、受検希望期間内で調整できない場合もございます。

季節により受検希望が集中する時などは、受検希望期間の前後に試験日を設定することがありますので予めご了承ください。

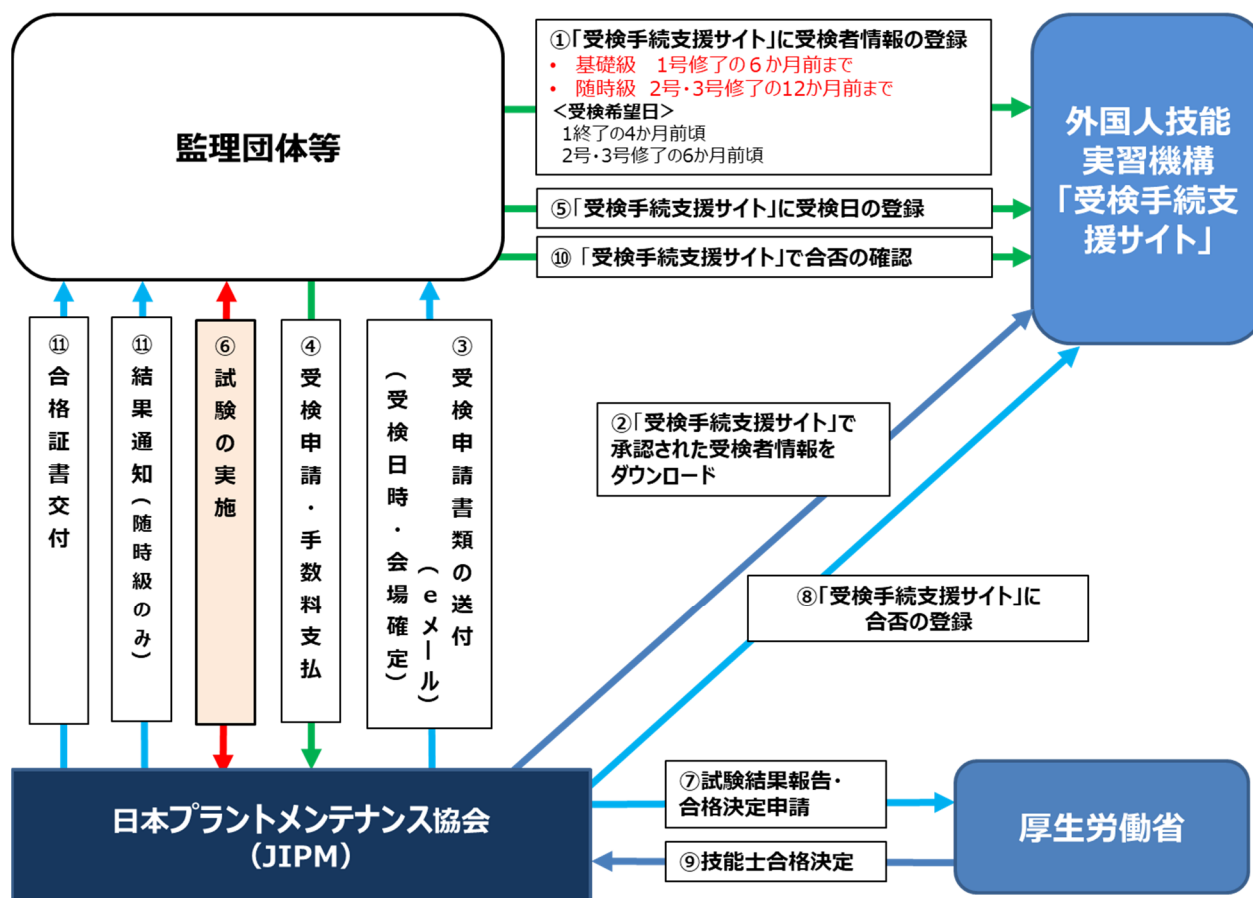
2. 試験会場について

JIPM が指定した試験会場で試験を実施します。

＜注意事項＞

- ・JIPM が指定した試験会場にて受検していただきます。
- ・集合型で試験を実施するため、試験会場には他の監理団体や受検者がいます。
- ・「受検予定地」を参考に周辺地域で試験会場を検討します。希望にそわない場合でもご了承ください。
- ・監理団体や実習実施機関の希望で試験会場の指定や変更はできません。

8. 試験実施の流れ



受検申請に関する手続き開始から試験実施まで一定の時間を要します。

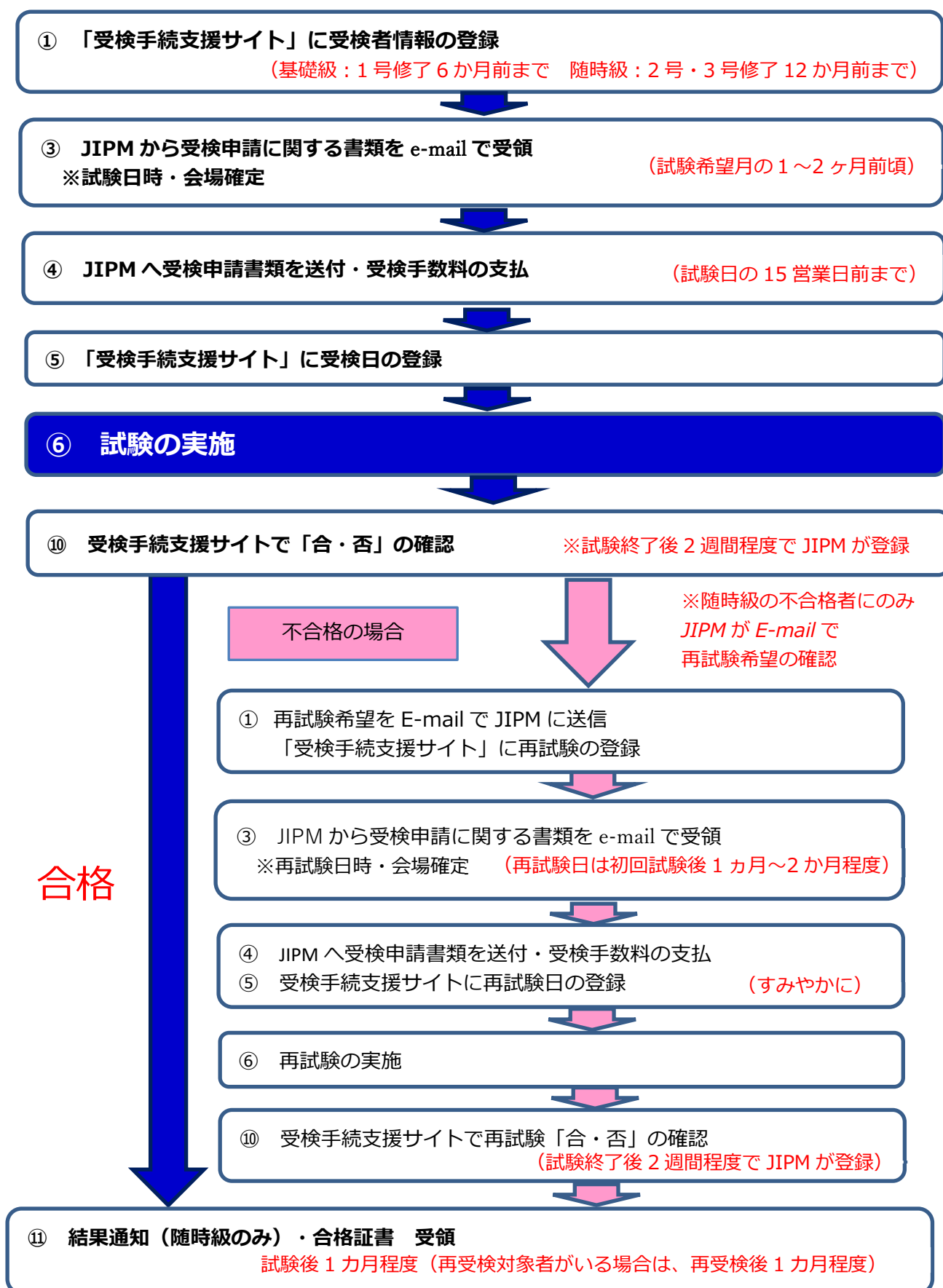
検定試験を確実にを行うため、余裕を持って、受検申請手続き(P.7～9 ご参照)・受検準備を進めてください。

外国人技能実習機構「受検手続支援サイト」で承認済みの受検者(申請した監理団体)に、JIPMが試験実施日・試験会場を決定し連絡をいたします。連絡方法は E-mail です。

受検を希望する場合は、まず外国人技能実習機構に受検申請に関する手続きをしてください。

※③④については、P.7 「9.受検申請手続き」をご確認ください

監理団体等 受検申請から合格証書交付までの流れ（図・試験実施の流れに基づき説明）



9. 受検申請手続き

1. 申請手続きに関する注意事項

- ① JIPM が試験日と試験会場を確定し、監理団体等へ受検申請関係の書類一式を E-mail で送付しますので、**JIPM からの E-mail を受信できるようにしてください。**
- ② 受検申請関係の書類は、**受検希望期間の 1～2 か月前頃にご案内します。**
- ③ E-mail に添付したデータの**パスワード有効期限は7日間です。**受信後、至急ご確認ください。

【個人レコード情報に変更がある場合】

受検手続支援サイトで機構が承認した翌日に、個人レコード情報をダウンロードします。承認後に、次の項目を変更する時は、E-mail にて変更内容を必ずご連絡ください。

- a. 受検者名・生年月日の修正
- b. 受検希望科目の変更
- c. 受検希望期間の変更
- d. 受検をキャンセルしたい、帰国者がいる等
- e. 調整担当者情報の変更
- f. 実習実施機関または監理団体の変更

※在留カード番号の変更連絡は不要です

2. JIPM から監理団体へ送付する受検申請に関する書類一式

- ① 受検申請情報提出シート(Excel ファイル)【再試験の場合は送付しません】
- ② 写真票兼受検票(PDF ファイル) 受検者人数分
- ③ 計画書(PDF ファイル)
- ④ 受検案内
- ⑤ 体調等の報告(WORD ファイル)

3. 受検手数料の振込手続き

「計画書」を確認し、ご請求額(非課税)を試験の 15 営業日前までに下記へお振込みください。

<振込先>	みずほ銀行 銀座中央支店 普通 1077452 シャ)ニホンプラントメンテナンスキョウカイ
--------------------	--

・監理団体と実習実施機関の双方から受検手数料が入金されるケースが増加しております。二重の振り込みとならないよう十分ご注意ください。

・振込手数料は、ご負担ください。

・原則として領収書は発行いたしません。

・受検申請受理後に受検できなくなった場合でも、受検手数料の返還はいたしません。

再試験などの受検手数料に充当することもできません。ただし、天災・その他受検者の責に帰することのできない事由により受検できなかった場合は、返還または試験日を再調整することがあります。

4. 受検申請方法

JIPM に提出する書類は、E-mail で提出するものと郵送で提出するものがあります。

(1) E-mail(f-kikaihozen@jipm.or.jp)で提出するもの

① 受検申請情報提出シート(エクセル)【再試験の場合、提出は不要です】

- ・「記入例」(次項)をご確認いただき、入力してください。
- ・受検者住所、監理団体所在地を入力後、f-kikaihozen@jipm.or.jp へ送信してください。
※提出時はセルの追加など指定の書式を変更しないでください
※ファイル名を変更せずに、送信してください
※E-mail で届いた書類を確認し、受検者の個人情報(受検名、生年月日等)に誤りがないか、
帰国した方がいる場合は、事務局にメールにてご連絡ください。修正し再度書類をお送りします。

<受検申請情報提出シート(記入例)>

機械保安技能検定試験 受検申請データ提出シート										記入例		【受検申請情報提出】 17001 JIPM JIPM									
【申請内容と追加情報入力のお断り】 ○下記のとおり受検申請を受領しておりますので、申請内容のご確認と、追加情報の入力をお願いいたします。 ○本シートの提出は、< f-kikaihozen@jipm.or.jp >までご連絡ください。												申請番号 17001									
【注意事項(必ずお読みください)】 ※申請者フリガナ(D列)、および申請者住所(M~P列)以外のセルは編集しないでください 申請者フリガナ、および申請者住所が、受検者情報に適切に反映されません。 ※申請内容に誤りがある場合は、必ず<03-6865-6083>までお電話ください 本シートを訂正し、返送しても、受検者情報には反映されません。												監理団体名 JIPM 実務試験機関 JIPM 申請者数 1名									
【監理団体所在地】												赤枠内に、正確に入力してください									
郵便番号	都道府県	市区町村	丁目・番地	建物名・階数																	
101-0051	東京都	千代田区	神田神保町3-3	神保町SFⅢビル5階																	
【申請者追加情報】																					
No.	受検番号	申請資格を識別	申請者氏名の読み方入力	申請資格を識別	申請者住所入力																
		氏名	フリガナ	性別	生年月日	国籍	受検級	受検希望科目	入国日	在留期限	在留カード番号	都道府県	市区町村	番地	建物名						
1	17001-101	〇〇 〇〇	ワン チュンイェン	女	1990/09/21	中国	補修級	字料及び実技	2017/09/15	2018/09/15	EG01234567EA	愛知県	名古屋市千代田区	名駅4-23-13	名古屋大同ビル3-101						

(2) 郵送で提出するもの(郵送先は P.13 ご参照)

次の3点をJIPMに郵送してください。

①	写真票兼受検票	・受検者1名に1枚。 ・全員分を印刷し、写真欄に受検申請者の写真を必ず貼付する。
②	受検手数料の振込明細書	コピー可
③	パスポートの写し	・写真・氏名・生年月日の記載されているページのみで可。 ・顔写真・文字が鮮明にわかるようにA4サイズに拡大コピーする。 ・写真が不鮮明のため写真票兼受検票と照合ができない場合や、氏名や生年月日が判読できない場合、再提出を求めます。 郵送前に再度ご確認ください。

(3)提出期限

試験日の 15 営業日前までに、(1)「E-mail」と(2)「郵送」の送付をお願いします。

※ご提出が遅れると、受検ができない場合がございますので、ご注意ください。

・氏名、生年月日、調整担当者の E-mail アドレスの誤りが多く見受けられます。

提出前に、内容に誤りがないか再度ご確認ください。誤りがある場合、JIPM への申請前に必ず E-mail でご連絡ください。訂正して再送いたします。

10. 新型コロナウイルス感染症等の感染症拡大防止の対策について

1. 試験実施について

- 機械保全技能検定事務局では、感染症拡大防止対策をガイドライン(※)として定め、試験を実施いたします。

※ガイドラインの内容は逐次見直すことがあります。受検者に関わる見直しが発生した場合は、公式サイトへ見直しの内容を掲載いたします

- 試験実施の可否に関わる情報は、逐次更新される場合がありますので、公式サイトのご確認をお願いいたします。

2. 試験会場来場の際の受検者（ならびに監理組合様等）へのお願い

(1) 受検者（ならびに監理組合様等）への依頼事項

- 受検者（ならびに監理組合様等）は、試験会場において下記事項の協力をお願いします。
 - (ア) 試験会場における感染症拡大防止への協力
 - (イ) マスクの持参および会場内でのマスクの着用
 - (ウ) 会場におけるこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

(2) 試験日直近の体調等の報告

- 受検者は、受検票に下記を記載し、試験日当日提出してください。
 - (ア) 試験当日の体温の報告
 - (イ) 試験日前2週間における以下の事項の報告
 - a 37.5℃以上の発熱
 - b 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
 - c だるさ（倦怠感）、息苦しさ
 - d 嗅覚や味覚の異常
 - e 身体が重く感じる、疲れやすい等
 - f 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - g 同居家族や身近な知人の感染が疑われる方の有無
 - h 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触の有無

※ 監理組合様等がまとめて報告を行ってください

※ 発熱・咳等の症状がある方は受検を控えていただくようお願いします

◎試験当日は、「受検者の体調の報告」を受検当日お持ちいただき受検前に提出してください。

11. 試験当日の注意

下記の内容を受検前に受検者に周知徹底をお願いいたします。

1. 受検者が試験当日に持参するもの

- ・HB か B の鉛筆またはシャープペンシル（ボールペンは使用できません）
- ・消しゴム

※試験会場では、筆記用具の貸出は一切できません。必ず受検者をご準備ください

・「受検者の体調の報告」（当日つきそいの監理団体の方の署名。受検者全員分の提出は不要）

2. 試験会場（試験室）および集合時間について

「計画書」に記載された集合時間に、試験会場にお越しください。入場ができるのは、原則として集合時間の 15 分前です。

集合時間に遅れた場合、天災・その他受検者の責に帰することのできない事由以外は全て欠席扱いとなります。

試験は一般の施設を利用しますので、他の施設利用者の迷惑にならないようご注意ください。

3. 試験中の使用言語・試験中の入室制限

試験はすべて日本語で行います。質問がある場合は、日本語で質問をしてください。

試験中、通訳者等が試験室に入室することはできません。ただし、基礎級に限り、試験開始前の説明では同席や通訳が可能です。

4. 試験中の注意事項と不正行為について

検定委員および係員の指示に従ってください。

<禁止事項>

- ・日本語、母国語での会話、発言（挙手をしての質問は除く）
- ・携帯電話・PHS、スマートフォンなどの通信機器を使用
- ・情報通信機能のある機器（パソコン、腕時計型端末など）の使用
- ・録音機・カメラ・辞書などの使用

※禁止事項に対し、注意を受けても是正されない場合は不正行為となります

<不正行為>

- ・他の受検者に手を貸したり、合図をしたりすること
- ・カンニング行為
- ・受検者以外の人が受検すること
- ・試験運営を著しく妨げる行為や迷惑になるような行為
- ・試験問題の読み上げを録音する行為
- ・試験中に技能検定委員の注意や指示に従わないこと

試験中の不正行為については、発覚次第、即刻試験を中止とし、失格とします。失格となった場合、再試験も受検できませんのでご注意ください。

12. 試験の結果(合否について)

試験の結果について、お電話やメールではご回答しておりません。

試験実施後 2 週間程度で、外国人技能実習機構「受検手続支援サイト」に合否の登録をしますの
で、そちらでご確認ください。

13. 合格証書・試験結果通知の送付について

1. 合格証書

合格証書の発送には試験実施後 1 ヶ月程度かかります。

合格証書は、学科試験と実技試験の両方を合格した方に送付します。

2. 試験結果通知

試験結果通知の発送には試験実施後 1 ヶ月程度かかります。

基礎級: 再試験でも不合格の方には試験結果通知書を送付します。

随時 3 級・随時 2 級: 試験結果通知書を送付します。

【再試験受検者がいる場合】

再試験受検者の試験結果が出るまでは合格証書・試験結果通知書は送付しません。

数ヶ月お待ちいただきますことをご了承ください。

14. 再試験

1. 基礎級

学科、実技試験で不合格に該当する受検者がいる場合は、再試験の日程・会場等を確定し、再試験の案内をメールでご連絡します。

2. 随時 3 級・随時 2 級

学科、実技試験で不合格に該当する受検者名をメールでお知らせしますので、再試験を受検するか否かをメールにて必ずご返信ください。

再試験ご希望の回答をいただいてから、再試験の日程・会場等を確定し、メールでご連絡します。
集合型試験のため、試験日が決定し、試験日等を案内するまでに時間がかかります。試験会場が 1
回目と違うこともありますのでご注意ください。

※再試験が確定した場合、外国人技能実習機構の受検手続支援サイトに、再受検申請をしてください。
申請をされませんと、再試験の合否を当会が登録できませんのでご注意ください。

15. FAQ(よくあるお問合せ)

<受検申請について>

Q.外国人技能実習機構の受検手続支援サイトで申請したのですが、次はどうすればいいですか？

A.JIPM が試験日と試験会場を確定し、受検申請に関する書類を E-mail で送付します。受検手続支援サイトに申請完了の旨を JIPM に連絡する必要はありません。

Q. 受検手数料は課税対象ですか？

A. 受検手数料は非課税です。振込手数料は課税対象です。

<写真票兼受検票について>

Q.写真票兼受検票は試験当日に持参なくていいのですか？

A.持参は不要です。提出いただいた写真票兼受検票は、試験当日に検定委員が持参します。
試験当日に監理団体や受検者が持参する必要はありません。

<試験日・試験会場について>

Q.指定された試験日、試験会場を変更できますか？

A.試験日および試験会場を変更することはできません。試験は平日のみの実施です。

<試験当日について>

Q. 体調不良、所用などで試験を欠席したいのですが、受検手数料を返金してもらえますか？

A.受検手数料の返金はありません。また次回以降の試験への充当もできません。再試験を受ける手続きが必要です。

Q. 試験当日はどのような服装で試験会場に行けばよろしいですか？

A. 清潔感のある格好であれば、作業着でも私服でもどちらでも問題ありません。

Q. 試験問題は持ち帰ることができますか？

A. 試験問題、解答用紙は持ち帰ることはできません。

<使用言語について>

Q. 試験を受検者の母国語で実施してもらえますか？

A. 全等級ともに日本語のみです。基礎級のみ、試験説明時において通訳が可能です。

Q. 試験問題の漢字にふりがながふってありますか？

A. 基礎級は公式サイト「過去問題の閲覧について」の基礎級過去問題をご参照ください。随時 3 級は漢字にふりがながふってあります。随時 2 級はありません。

<試験問題の閲覧・受検対策について>

Q. 過去の試験問題を閲覧したいのですが？

A. 公式サイトに公開しております。公式サイトで公開しているもののみ閲覧可能です。

Q. 受検対策として参考書や公開セミナーはありますか？

A. 当会は、テキストの発行や受検対策講座を実施しておりません。インターネットなどで検索してください。過去問題を掲載している書籍等に関しては、公式サイトにて公開(※)しております。

※書籍等の内容に関しては、機械保全技能検定事務局が保証するものではありませんのでご注意ください。

<試験の結果について>

Q. 試験の合否を教えてくださいか？

A. 電話および e-mail でお問い合わせいただいてもお答えできません。外国人技能実習機構「受検
手続支援サイト」に、試験実施後 2 週間程度で試験結果(合否)を登録するのでご確認ください。
合格証書・試験結果通知書は試験実施後 1 ヶ月程度で送付します。
試験結果通知書は、基礎級の再試験に不合格の方および随時 2 級、3 級の方に送付します。
※再試験受検者がいる場合、その方の試験結果が出るまでは合格証書・試験結果通知書は送付
しません。

16. お問い合わせ先・申請書類送付先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会(JIPM)
機械保全技能検定事務局 技能実習生試験担当

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-3
神保町 SFⅢビル 5 階

Tel:03-6865-6083 Fax:03-6865-6084

e-mail: f-kikaihozen@jipm.or.jp

URL: <https://www.kikaihozenshi.jp/basic/>

 厚生労働大臣指定試験機関
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

2022 年 3 月